

れていない副読本を回収し教師向けに解説書を作成したとの事ですが、比布町ではどのように対応したのか教育長に伺います。

また、子どもたちの保護者だけでなく新旧副読本を図書館に展示するなどして町民に開示してはどうかと思いますので教育長に伺います。

教育長答弁 文部科学省と資源エネルギー庁は昨年2月小学校向けに原子力教育の副読本、小学生用として「わくわく原子力ワールド」、中学生用に「原子力ワールド」を発行し、教師用の解説編と合わせて、全国の各教育委員会と小中学校に1冊ずつ配布されたところです。この補助教材は、国民の放射線への関心が高まったことや、「大きな津波

スキー場設備の充実を



浅野章雄 議員

質問 びつぷスキー場は、近年大規模な設備投資は行われておらず、ほぼピーク時の施設のまま、現在も営業を続けています。第一リフトはすでに32年、第三リフトは29年経過していますし、圧雪車については、平成19年

が襲ってきてても原発の機能がそこなわれない」「放射性物質が外に漏れないよう、安全対策を行っている」など、原発の安全性について見直すべき記載があったことを受け、10月14日に放射性関連の基礎知識について内容を刷新した、小中学校、高等学校などの児童生徒向けの「放射線等の副読本」及び教師用に解説編を作成して、ホームページに掲載して、ダウンロードが出来る状況になっています。

に中古で購入した車両以外は15年から20年以上使用しており、耐用年数もすでに過ぎ、故障も多く部品の調達も難しくなっています。また、近年の温暖化の影響で積雪も少なく、広大なゲレンデ

を整備する圧雪車は特に傷みが目立ちます。毎年多くの修繕費をかけ、整備点検を行っておりませんが、施設、車両の老朽化は進んで行く一方です。



スキーヤーの安全はもちろんですが、従業員の数も減少している中で、安心して働く事ができる環境を整備することも大切ではないかと考えます。今後比布のシンボリックな観光施設として、魅力あるスキー場にするために、ある程度計画的な設備投資をしていくべきではないでしょうか。町長の考えをお伺いします。

第4回定例会

12月15日

規約

◆上川広域滞納整理機構規約の変更
上川広域滞納整理機構に平成24年度から美深町が加入することに伴い、規約を変更するもので、原案のとおり可決されました。

協議会の廃止

◆上川中部地区広域市町村圏振興協議会の廃止
昭和47年に旭川市と中央部8町で設立した上川中部地区広域市町村圏振興協議会が、平成24年2月29日をもって廃止するもので、原案のとおり可決されました。

協定

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定
昨年10月に旭川市との間に定住自立圏の形成に関する協定を締結しましたが、新たに産業振興や地域公共交通などの分野の取り組みにおいても相互に役割を分担し、連携を図るもので、原案のとおり可決されました。

指定管理者の指定

◆指定管理者の指定
地方自治法の規定に基づき、比布町交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びつぷ」の指定管理者の指定について議会の議決を求めたもので、原案のとおり可決されました。
なお、指定管理者は次のとおりです。
株式会社 荒尾
代表取締役 荒尾 孝司

条例

◆比布町税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正により関連する町税条例を改正するもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆職員給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に伴い、職員の給料表を引き下げるもので、原案のとおり可決されました。

◆平成23年度一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算にそれぞれ5千677万2千円を追加し、総額38億786万4千円とするもので、原案のとおり可決されました。
◆平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第2号)
歳出予算の款項の区分を変更するもので、原案のとおり可決されました。

意見書を提出

第4回定例会において、次のとおり意見書を採択し、関係機関に提出しました。

- ◆免税軽油制度の継続を求める意見書
 - ◆環太平洋経済連携協定(TPP)に反対する意見書
- 〔提出先〕
衆参両院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、総務大臣、国土交通大臣、経済産業大臣

皆さんも傍聴しませんか

今回の定例会は3月に開会の予定です。詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。皆様のお傍聴をお待ちしています。

